

新型コロナウイルス感染症の対策について

川口高等学校

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、可能な限り、以下の3つの条件が重ならないように学習環境を設け、指導を行うことで安全に生活できるようにします。

換気の悪い密閉空間	密集	近距離での会話や発声
-----------	----	------------

【登校時】

- ① 登校時、学級ごとに、昇降口で『健康確認表』で体調と体温の確認を行います。37, 0℃～37, 4℃の場合には、保健室で再検温を行います。
- ② 家庭、町寮で検温未実施の場合は、2階小会議に誘導し、他の生徒の接触をさけて検温します。
- ③ 37, 5℃以上の場合、自宅からの通学生、学校寮生は、保護者に迎えを依頼し帰宅させます。町寮生の場合は、放送室にベットを置いて隔離し、保護者が迎えに来るまで他の生徒との接触を避けるようにします。

帰宅後は、居住地域の保健所（帰国者・接触者相談センター）に連絡し、指定された病院を受診するように依頼します。（受診する先の病院名の連絡を受ける。）

【授業】

- ① 教員、生徒ともマスク着用します。休み時間は、換気（外窓、内窓）を行います。
- ② 体育の授業では、マスクをしません。他者と接触する運動は行わないようにします。
- ③ 生徒の席の前後に広めの間隔をとるようにします。

【部活動】

- ① 午後7時までには終了します。2～3時間程度の実施とします。
- ② 屋内競技の場合は、定期的な換気又は窓の開放を行って実施します。

【部活動以外の放課後の活動】

- ① 課外授業を受けた場合、授業終了後は、速やかに下校します。課外授業の際は、換気を随時行って実施します。
- ② 課外授業のない生徒は、速やかに下校します。

【教員と生徒間、生徒と生徒間の距離】

- ① 教員も生徒も常時マスクを着用します。常に生徒への接触（距離）に注意して授業を行います。
- ② 個別指導や面談を行う際には、2m程度の距離をとり、随時部屋の換気を行います。
- ③ 生徒同士の身体接触や距離の近い会話は行わないように指導します。

【校舎内の消毒、清掃】

- ① 下校前の清掃時に日常的に手が触れる箇所の拭き掃除を行うようにします。
- ② 生徒が下校した後にドアノブや取っ手などのアルコールによる消毒を行います。